

フレンズ19年度スタート

4月6日、文化の家 光のホールで

平成最後の総会が開催されました。



「長久手市

文化芸術マスタープラン」

目標に向かって

議事に先立ち、就任2年目を迎えた広中館長よりあいさつがあり「昨年は文化芸術マスタープランに従って見直しをし、今後10年間の目標をつくりました。①どこでも気軽に文化に参加できる②子どもアートに重点をおく③つながりや絆を深め交流を盛んにする④質の高い文化長久手クオリティを大切にするなどです。また、他の課題として文化活動団体の自立的な運営や、非常に質が高いアシストをされているフレンズさんや福祉関係など他との連携を進め新しいかたちを探していけたらいいなと思っています」と話されました。

昨年度の報告と今年度の計画について

議長選出の後、2018年度活動報告・会計報告、2019年度活動計画・予算案を審議し、いずれも承認されました。今年度の役員は表のとおりに決まりました。

総会後は

「うたごえ♥フレンズ」

毎月開催されている「うたごえ♥フレンズ」のメンバーが出張し、会場の皆さんと一緒に



歌声が会場に響きます

2019年度フレンズ役員

会長	水野美々子 (事業部長)
副会長	石田由利子
事務局	浅田悠紀
事務局	山口節子
事務局	山永坂真美
事務局	田宮なおみ (文化の家職員)
事務局	市野華奈子
事務局	鈴木多恵子 (文化の家運営委員)
事務局	酒井光恵
事務局	福岡八重子
事務局	加藤千恵

5月10日
フレンズ研修旅行へ

モザイクタイル
ミュージアム
&
女城主の里
いわむら

にピアノ伴奏にあわせ、「花」など春にちなんだ曲や教科書でおなじみの曲、昔の歌謡曲などを大きな声で歌い、楽しいひとときを過ごしました。



練炭が組み込まれたテーブル

好天に恵まれ、今年も市外研修が行われました。参加目録を含め、27人を乗せたバスは順調に目的地へ。

まず多治見市のモザイクタイルミュージアムに到着。粘土質の土が豊富なこの地方では、大正時代からタイル製造が盛んになりました。外観は原料の土の採れる山の断面を模した特徴的なフォルム。高名な藤森照信氏によるデザインで、4階建ての内部もさまざまな意欲的デザインにあふれています。ある年代以上の方々にはとても懐かしいタイルのお風呂、テーブル、銭湯の壁画など、時間を忘れて見入りました。



ドラマ「半分、青い。」のロケ地になった商店街

また現代になっても、その製造には多くの人々が手間をかけて美しく仕上げていることを、係員の女性が分かりやすく説明してくれました。

旧家そのままお店に

岩村城下町は重要伝統的建造物保存地区に指定され、ドラマのロケ地としても有名になった町並みです。歴史を感じさせるずっしりとした佇まいの旧家は、そのままいろいろなお店に。造り酒屋、和菓子屋、喫茶店、骨董店など。

参加の皆さんは自由時間をゆったりと思い思いに楽しみ、お土産を抱えて帰路につきました。 (研修部 野村由季)